

令和5年11月24日  
国土交通省関東地方整備局  
荒川上流河川事務所  
武州ガス株式会社  
公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

## 武州・入間川プロジェクト

令和6年度「助成団体」を12月から募集を開始します

武州・入間川プロジェクトの令和6年度「助成団体」の募集を行います。

このプロジェクトでは、河川を軸とした地域社会の活性化、さらに河川環境管理の質的向上を目指し、活動を行っている市民団体等に最大20万円の助成金を交付しております。

令和5年12月1日から令和6年3月15日まで令和6年度の助成団体募集を行い、結果は4月下旬に応募者へお知らせするほかホームページでも公表します。

### 【武州・入間川プロジェクト】

武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動をされている市民団体等に、活動支援を行う新しい形の官民連携事業です。この取り組みにより、河川を軸とした地域社会の活性化はもとより、河川環境管理の質的向上を目指します。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ  
川越新聞記者会 所沢記者クラブ

#### <問い合わせ先>

関東地方整備局 荒川上流河川事務所  
電話：049-246-6360  
FAX：049-244-9077

副所長 高橋 靖（内線：205）  
流域治水課 課長 柳川 一博（内線：351）

武州ガス(株)  
電話：049-241-9590  
FAX：049-242-0778

企画部長 大久保 忠夫  
企画チームマネージャー 須部 洋史

(公財)埼玉県生態系保護協会  
電話：048-645-0570

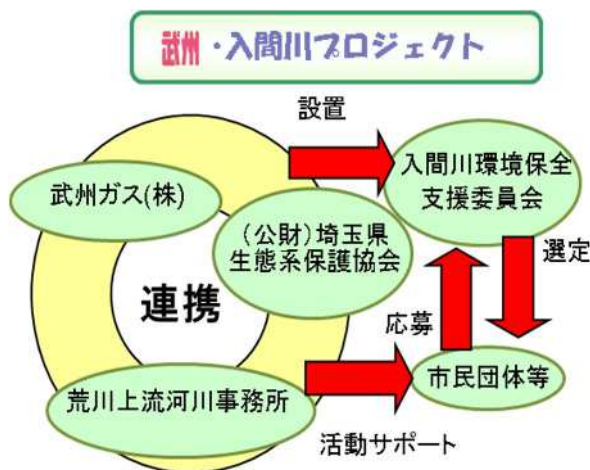
事務局長 前田 博之

メール：iruma-project@ecosys.or.jp

## 1. 「武州・入間川プロジェクト」概要

「武州・入間川プロジェクト」は、武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行っている市民団体等に、活動助成を行うものです。本プロジェクトは、これら三者の連携により、河川を軸にした地域社会の活性化と、河川環境管理の質的向上を目指します。

活動助成にあたっては、助成する市民団体等を募集し、別途学識者を含めた「入間川環境保全支援委員会」により助成団体を選定します。選定された団体に、助成金を交付（最大20万円）するだけでなく、必要により当該河川に関する情報提供、専門家、講師の派遣など活動をサポートいたします。



各主体からの支援内容は以下の通りです。

### 【武州ガス株式会社】

活動資金の提供（活動助成）等

### 【荒川上流河川事務所】

活動フィールドの提供、河川に関する講師の派遣・情報の提供、調査の共同実施

### 【公益財団法人埼玉県生態系保護協会】

市民団体等への指導・助言、専門家の派遣等

## 2. 助成対象期間

令和6年4月1日～令和7年3月1日の間に実施する活動

## 3. 応募方法

応募用紙（荒川上流河川事務所ホームページよりダウンロード）に必要事項を記入し、「6. 応募先及び問い合わせ先」まで郵送、FAX 又は Eメールで送付して下さい。

ホームページ：[https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo\\_index049.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index049.html)

## 4. 令和5年度の助成状況

令和5年度には、小学校を含む12団体に対して助成を実施しています。

## 5. 応募期限

令和6年3月15日（金）

## 6. 応募先及び問い合わせ先

入間川環境保全支援委員会事務局（公益財団法人 埼玉県生態系保護協会内）

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町1-103-1 YKビル5F

TEL 048-645-0570

FAX 048-647-1500

Eメール [iruma-project@ecosys.or.jp](mailto:iruma-project@ecosys.or.jp)



# 令和6年度 武州・入間川プロジェクト 助成団体募集

「武州・入間川プロジェクト」とは、武州ガス株式会社、国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、公益財団法人埼玉県生態系保護協会が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行っている市民団体等を支援するための活動助成事業です。

各主体からの支援内容は以下の通りです。

【武州ガス株式会社】 活動資金の提供（活動助成）等

【荒川上流河川事務所】 活動フィールドの提供、河川に関する講師の派遣・情報の提供、調査の共同実施

【公益財団法人埼玉県生態系保護協会】 市民団体の指導・助言、専門家の派遣等

## ● 募集内容

**趣旨** 入間川流域における地域社会の活性化を目指し、市民団体等が行う活動に対し費用助成を行います。

**助成対象** 市民団体、学校等の非営利団体による公益的な活動

**助成範囲** 入間川流域の8市8町1村（川越市、狭山市、入間市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、坂戸市、鳩山町、毛呂山町、飯能市、東松山市、嵐山町、小川町、ときがわ町、越生町、寄居町、東秩父村）での活動

**対象活動**

- ①原則として入間川流域（入間川、越辺川等）の河川内をフィールドとして行う河川環境の保全・再生・創出に貢献する活動等。（河川清掃のみを目的とした活動等は対象外）
- ②上記活動などに関するセミナー等の実施、河川環境・防災に関する学習活動。

※決定後の活動内容の変更は認めません。

**助成内容**

- ①助成金額 1団体 最大20万円
- ②助成件数 10件程度
- ③助成対象費目 活動に必要な器具、材料の購入、資料・報告書の作成費など。

※助成対象費目は活動目的や内容で必要性を明確にする。  
 ※活動が継続するものは、継続の必要性、今回の対象部分がわかるようにする。  
 ※助成は原則3年とする（活動内容の発展性を勘案して決定する）。

**審査** 助成団体の選定に当たっては、入間川環境保全支援委員会（武州ガス株式会社、国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、公益財団法人埼玉県生態系保護協会、及び学識者で組織する委員会）で書類選考を行います。結果は4月下旬に申請者全員に文書にて通知するほか、ホームページ等により団体名を公表します。

**評価項目**

- ・活動範囲
- ・河川環境への貢献度
- ・地域への貢献度
- ・実効性

対象費目例	対象とならない費目例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に必要な器具・材料の購入費</li> <li>・資料作成、PR費用(チラシを含む)</li> <li>・連絡通信費</li> <li>・活動会場等の使用料</li> <li>・保険料(活動に関するもの)</li> <li>・活動記録の作成費(写真、コピー代など)</li> <li>・活動に必要な講師等の謝礼・交通費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動スタッフの人件費・交通費</li> <li>・一般的な事務用品等(デジカメ、FAX、ビデオカメラなど)</li> <li>・食費</li> </ul>

	評価項目
範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入間川流域を活動の場としている。</li> <li>・河川空間を十分に活用している。</li> </ul>
河川環境への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川環境の保全等に対する貢献が顕著である。</li> <li>・環境教育の内容が具体的に盛り込まれている。</li> <li>・主な活動が河川清掃である場合は助成を行わない。</li> <li>・従来の河川環境に悪影響を与える恐れがある場合は助成を行わない。</li> </ul>
地域への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と連携している活動である。</li> <li>・活動で得た成果を地域に還元できる。</li> <li>・防災教育の内容が具体的に盛り込まれている。</li> <li>・活動内容が地域の模範となっている。</li> <li>・娯楽や単発的なイベントが主な活動である場合は助成を行わない。</li> </ul>
実効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の内容が具体的である。</li> <li>・応募書類に不備が多く、内容が不明である場合は助成を行わない。</li> <li>・活動目的が曖昧な場合は助成を行わない。</li> <li>・助成金の用途が不明・不相当である場合は助成を行わない。</li> </ul>

# 令和6年度 **武州・入間川**プロジェクト 助成団体募集

「武州・入間川プロジェクト」とは、武州ガス株式会社、国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、公益財団法人埼玉県生態系保護協会が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行っている市民団体等を支援するための活動助成事業です。

## ● スケジュール

募集期間 令和5年12月1日～令和6年3月15日  
対象となる活動期間 令和6年4月1日～令和7年3月1日

## ● 助成を受ける団体の義務

助成を受ける団体は原則として以下の事項を実施していただきます。

- ①活動を実施するにあたっては、「武州・入間川プロジェクト」ののぼり旗（貸与）を掲示し、また、活動助成を受けている旨を何らかの方法で明示すること。
  - ②活動完了後、所定の様式（実施報告書、アンケート）を記入し提出すること。（令和7年3月7日（金）まで）
  - ③助成企業等のイメージを低下させる行為をしないこと。
- ※提出された実施報告書等については、「武州・入間川プロジェクト」活動助成事業事務局に帰属するものとし、文章の一部や写真等を活動事例集等の作成に使用します。また、活動事例集等はホームページ等で公表します。ただし、前述の目的以外では使用しません。

## ● その他

「武州・入間川プロジェクト」の広報活動にご協力していただく場合があります。

## ● 助成金の支払い方法

実施報告書を提出された後、助成金交付申請書に基づき銀行口座に振り込みます。様式は助成団体決定後ホームページに掲載します。

## ● 応募・問い合わせ先

裏面の応募用紙に記入の上、事務局に郵送、FAX又はEメールでお送り下さい。  
なお、応募書類は返却いたしません。ご提出いただいた個人情報については適正に管理し、審査の目的以外には使用いたしません。  
応募用紙はホームページからもダウンロードできます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo\\_index049.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index049.html)

送り先 「入間川環境保全支援委員会事務局」(公財)埼玉県生態系保護協会内  
〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町1-103-1 YKビル5F  
TEL 048-645-0570 FAX 048-647-1500  
Eメール iruma-project@ecosys.or.jp



原次郎氏

### 武州ガスと入間川

武州ガスの創始者原次郎氏は、入間川の治水に、大きな功績を残しました。原次郎氏は、明治28年（1895年）埼玉県入間郡三芳野村紺屋（現在の坂戸市）に生まれ、水害の常習地帯である貧しい村の惨状を見て育ち、「治水を図り、貧困をなくすこと」を強く心に誓ったと言われていました。昭和15年（1940年）には入間川水系改修期成同盟会会長として、治水に情熱を傾けました。そして昭和17年（1942年）には、この熱意が実を結び、入間川・越辺川・小畔川が国の直轄河川に指定され、入間川水系の三川分流工事の実現など治水に尽力されました。

・武州ガスは、入間川流域を中心とした地域に密着した企業として、地域を支えるとともに、社会貢献活動に積極的に参加しています。入間川流域の次の世代に伝えていくため、先人の遺志を継ぎ、今回のプロジェクトに至りました。

## 令和6年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成申請書

入力欄		注釈・内容
活動タイトル		
団体名		
団体種別	答	A. 市民団体(特定非営利活動法人ではない団体)
		B. 特定非営利活動法人
		C. 小学校
		D. 中学校・高等学校
		E. 大学・高等専門学校・その他専門学校等
		F. その他
・HPアドレス		
代表者名		
担当者名		
担当者連絡先	郵便番号	
	住所	
	電話番号	
	FAX番号	
	E-mail	
設立年度		
申請団体の概要		
<b>申請活動の概要（助成を希望する活動の具体的な目的や内容等を入力して下さい。）</b>		
・活動期間		
・活動場所	河川名:	
	市区町村名:	
	ふりがな	
	地先名等:	
・活動種別	答	A. 自然環境調査(水質調査、水辺の生物調査、植生調査など)
		B. 環境保全活動(草刈りなど生物の生育環境の保全活動、施設の維持など)
		C. 環境・体験学習(自然観察会、防災、河川の歴史探訪のなど)
		D. 講演会、シンポジウム等
		E. その他
・活動の背景と目的		
・令和6年度の活動目標		

※20文字以内で入力してください。

主に該当するものをリスト▼の中から1つ選んでください。また、Fの場合はその他に入力して下さい。  
※団体種別は、事務局の所属等で判断してください。

※団体のホームページがある場合は、入力してください。

設立趣旨、活動概要等  
※150字以内で入力してください。

主に該当するものをリスト▼の中から1つ選んでください。また、Eの場合は入力して下さい。

活動に至る背景・目的など具体的にしてください。※200字以内で入力してください。

上記の目的に対して今年度実施しようとしている内容を具体的にしてください。※200字以内で入力してください。

・助成に関 わる実施 内容	
・スケジュール	
・地域との 関わり	

上記活動目標の中で申請活動に関わる部分の内容をを具体的に入力してください。※300字以内で入力してください。

申請活動について、概ねのスケジュール(日程・期間)を入力してください。活動日が決定している場合は、できる限り具体的な日程をご記入ください。※箇条書きで入力してください。

申請活動を通じて地域とどのように関わっているのか、地域に対してどのような波及効果があるのかをご記入ください。※200字以内で入力してください。

**助成希望費目**

予算費目	助成希望費目	支出費目 (例：活動記録作成費(写真代・コピー代))	内訳 (カラコピー100枚×100円)	金額 (10,000)
		合計(≤20万円以内)		0

※ 内訳は、数量計算又は必要性等を記入してください。  
【注意事項】  
本助成事業は、申請された活動に対する助成のため、活動内容の変更は認められません。助成費目は、経費節減等により申請した助成希望費目の合計が助成決定額を下回った場合は、助成決定額を上限として、その他費目に計上した支出費目の中から費目を追加して、助成金の交付申請をすることができます。  
追加した費目は、事務局において、その費目が助成対象となる費目であることや活動内容に対する必要性等を審査し、助成対象額に含めるか決定させていただきます。

過去の実績	年度 (概要等)
	年度 ※「武州・入間川プロジェクト」活動助成を受ける前からの活動実績の概略
	年度

その他の助成	今回の活動内容の中で本助成以外に国、都道府県、市区町村、公益法人等の機関から助成金、協賛金、負担金等を受けている場合(または、申請している場合)は、その内容を記入してください。	
	他の助成の有無：	<input type="text"/>
	助成等主催者：	<input type="text"/>
	助成等の名称：	<input type="text"/>
	助成等の金額：	<input type="text"/>

他の助成の有無をリスト▼の中から選んで下さい。

**参考資料**

参考資料として、応募活動の内容に関する補足資料(企画書・募集ちらし等)がありましたら添付してください。(A4 4~5枚程度)

アンケート	質問)このプロジェクトは何で知りましたか?該当するものに○を付けてください。(複数可) ( ) ホームページ ( ) 新聞 ( ) 自治体の広報誌 ( ) チラシ ( ) 知り合いの紹介 ( ) その他( )
-------	--

ご意見・感想等	このプロジェクトについてご意見や感想等ありましたら お書き下さい。 選定には関係ありませんのでお気軽にどうぞ。
---------	--